

速報版です。内容見直してして12月12日に確定版にします。(注) 受講生ご本人以外への開示は厳禁。

ケース1: 笹野さん相談ロープレ 対策		解説
CC5	では、笹野さんのご相談は「就職は事務職を想定していたが準備もできておらず、友人を見ると焦るし、事務職の求人は少ないと聞いて、就職活動をどう進めればよいか分からないのでアドバイスが欲しい」でよろしいですか？ もし、何か違いがあれば、何でもおっしゃって下さいね。	試験当日、相談者が話す内容が少し違う場合には、それを取り入れてもよいが、そこまで気にしないでこのままでも十分良い。なぜなら最後に「違いが…」と添えているから
CC7	ここまで、お話をお聞きすると、それは本当に「どうすればいいかな～と焦るし不安」になりますね～～	理解・共感のことは、より気持ちに沿ったものになっている
CC9	ではまず初めに「卒業後は事務職を想定していた」と言われていますが、そこについてもう少し詳しく、理由とかお気持ちを聞かせてもらってもいいですか？	相談の中で、大事と思われる点から、オープンに質問している。答えやすいように、「理由とかお気持ち」と言葉を添えている
CC10	事務職を考えるきっかけは何かありましたか。どなたかに勧められたとか？	大学で勉強したことを活かす又は関連の仕事に就職は考えたことはありませんか？
CC12	次に「友人の就職活動を知り焦っている」と言われていますが、そこをもう少し詳しくお聞かせいただけますか？	相談者の発言からの2つ目の質問。焦っている気持ちの深堀
CC13	友人は大体、どんな就職活動に向けてどんな準備しているとお聞かしていますか？	同じ事務職で就職を目指している友人の方とはお話ししますか？ すればどんなお話ですか？
CC14	「参加した就職セミナーで事務職の求人は少ない」とのことですが、そこをもう少し詳しくお話し聞かせいただけますか？	相談者の発言からの3つ目の質問。どの程度、事務職に関し得理解しているか探る質問
CC15	そのことを大学の就職支援センターに相談はされましたか？ もしされていればどんなお話がありましたか？	セミナーでは就職では、どんな取り組みが大事かというような話があったと思いますが、どんなふうに感じましたか？
CC17	質問は変わりますが、笹野さんは、どんな仕事に向いている、とかご自分の向き不向きをどう思われますか？	自己理解を探る質問
CC21	基本的なことですが、事務職の仕事は、どんな仕事でどのような能力が求められるかなど、知っていること や 考えていることがあればお聞かせください。	仕事理解を探る質問
CC26 (1)	>就職活動をどう進めればよいか？を考えると、(①話のつかみ) >笹野さんに今不足している点は、事務職に関する仕事理解がまだ十分でないと思います。(②問題伝える) >そこをよく理解して行くと、これから事務職で進むべきか、他の職種にも広げるべきか 方向が決まって来ると思います。(③それで何が良いのか、解決できるのかを示し 動機付け) >私も一緒に考えてサポートしますので、(④支援の表し) >まずはここから始めることは笹野さんはどう思いますか？(⑤考えてもらう から 自主的気づきへ)	CCが考える問題の1つ目 仕事理解不足を気づかせ、その解消に進ませるための大事な場面(フレーズ) 「問題把握」の合格には欠かせない
CC26 (2)	>もう一つ私が気になる点は、(①話のつかみ) >笹野さんが、仕事とご自分適正についてまだ十分に理解されていないと感じたことです。(②問題伝える) >そこまで十分に理解しているひとは多くはないと思いますが、(問題と和らげる) >今、就職活動で迷っている場合には、その解消にはそこが必要になって来ます。(③) >ですから、まずは自分の適正をよく考えてみることから始めるとよいと思いますが、笹野さんはどう思われますか？(⑤) もちろん私もお手伝いしますので…(④)	CCが考える問題の2つ目 自己理解不足を気づかせ、その解消に進ませるための大事な場面(フレーズ) 「問題把握」の合格には欠かせない
CC28 (1)	それでは、まず事務職をしっかり理解することを初めの目標に、これから進めて行きたいと思いますが、よろしいですか？	目標設定(1)
CC28 (2)	それでは、笹野さん自身の、適正・適職をしっかり自己理解することを初めの目標に、これから進めて行きたいと思いますが、よろしいですか？	目標設定(2)
CC29 (1)	事務職は以前は高卒＝事務職のイメージがありましたが高卒でも希望者が増えている理由は何か 又事務職とはそもそも何をやる仕事か、事務職の種類も様々です。事務職のキャリアプランは？ 等々をここで、考え理解を深めて行きましょう。 その中で職業検索のキャリアインサイトなどについても説明します。	目標(1)の具体策のポイント説明
CC29 (2)	自己理解のためには、面接法といって私キャリアコンサルタントと話す中で自分の興味や価値観に気づく方法、いろいろな自己理解ツール、例えば「職業適性検査」「職業興味検査」などを使って行うことも良い方法です。	目標(2)の具体策のポイント説明
全体理解補足解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事務職とは、書類作成や管理、データ入力、電話対応、来客対応といった業務をとおして、ほかの従業員をサポートする仕事です。「一般事務」「営業事務」「介護事務」などの種類があり、それぞれ業務内容も異なります。以前は「事務職＝高卒や短大卒の人がなるもの」というイメージが普及しており、大卒で事務職に就く人はそれほど多くありませんでした。しかし、現在では「転動がない」「営業に配属されるのが怖い」「残業時間が少ない職種が良い」といった理由から、事務職に魅力を感じる大卒者が増えているようです。</li> <li>●事務職は大卒に人気の職種なので、就職の難易度が高い傾向にあるようです。厚生労働省の「一般職業紹介状況(令和3年2月分)」について『職業別一般職業紹介状況[実数](常用(除パート))』(1p)によると、事務職の有効求人倍率は0.33倍。これは、求職者1人当たりの求人数が1件にも満たないことを意味します。</li> <li>●以前は「事務職＝高卒や短大卒の人がなるもの」というイメージが普及しており、大卒で事務職に就く人はそれほど多くありませんでした。しかし、現在では「転動がない」「営業に配属されるのが怖い」「残業時間が少ない職種が良い」といった理由から、事務職に魅力を感じる大卒者が増えている</li> </ul>	